

第7学年 なごみ3組 自立活動 学習構想案

日 時 令和7年7月10日（木）第1校時
場 所 なごみ3組教室
指導者 教諭 鳴海 沙織

1 単元構想

単元名	題材名「分かりやすく伝えよう」
単元終了時の生徒の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）	
自分の気持ちや考えを、自信をもって表現しようとする生徒	
単元を通した学習課題	本単元で働かせる見方・考え方
相手に自分の気持ちや必要なことを伝えるためには、どんなことが大切なのだろうか。	教材との関わりを通して、必要なことを順序立てて説明することや相手に分かりやすく伝える要点に配慮しようとする。
本単元に関わる自立活動内容項目	
6 コミュニケーション (2)言語の受容と表出に関する事。 (3)言語の形成と活用に関する事。	

2 本時の学習

- (1) 目標 危険を想定する活動を通して、学習課題につなげることができる。
(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される生徒の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	10分	1 発音トレーニングをする。 2 課題をつかむ。 ①前回までのふりかえりを行う。 ②学習課題とめあてを確認する。 <div>【学習課題】 状況を分かりやすく説明するためには、 どのように表現すればよいだろう。</div>	○毎時間の帯タイムの活動として取り入れる。 ○五十音や単語の発音を確認する。 ○前時までに学習していた内容を電子黒板で示すことで、本時の学習をイメージする。 ○ワークシートを配り、丁寧に日付・名前を書かせる。学習課題とめあては、なぞり書きができるようにすることで作業をスムーズに行わせる。
		【めあて】危険なことを想定して、説明しよう。	
展開	30分	3 課題の解決に向けて活動する。 ①イラストを見て、具体的に見えるものを挙げる。 ②イラストの状況設定を確認する。 ③ポイントを確認し、危険な状況を想定する。 (共通実践事項1) ④考えたことを発表する。 (共通実践事項2) <div>【期待される学びの姿】 ポイントに沿って、自らが挙げた言葉を用い、自分の考えを表現しようとしている。</div>	○コグトレ「何が危ない？」から、家庭内のイラストを提示する。 ○①について、短冊を利用し、生徒の知っている言葉で表現させるようにする。 ○主語や目的語となるような言葉とその他の言葉を区別し示す。 ○「想定する」ということを、具体的に示す。 ○モデル文を示す。 <div>【具体的評価規準】思 ○モデル文を見て真似たり、自分なりに応用したりしながら表現している。 (方法：発言・ワークシート)</div>
		【到達していない生徒への手立て】 ○具体的な言葉の短冊を示しながら、主語や目的語	
		【まとめ】状況を分かりやすく説明するためには、「何が」や「何を」などの言葉を使って表現するとよい。	
終末	10分	4 学習を振り返る。 ○今日の振り返りをする。(共通実践事項3)	○振り返りの視点①④

3 指導に当たっての留意点

- 【視点1】「状況を的確に捉え、判断し、主体的に行動する力を身に付ける授業の工夫」
手立て3：子供が自らの意思で表現したり、行動したりする場の設定
○「想定する」活動を通して、イラストやモデル文を手掛かりに、主体的に表現しようとする。